

# 平成29年4～6月期結果(確報)の概要

## I 今期の概況

### 1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断DI

① 今期の業況判断

今期（平成29年4～6月期）の業況判断DIは (-)56.7 で、前期（平成29年1～3月期）(-62.9)に比べ、6.2ポイントの改善。

② 来期の見通し

来期（平成29年7～9月期）の業況見通しDIは (-)55.2 で、今期の業況判断(-56.7)に比べ、1.5ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断DIの推移 -調査産業計-

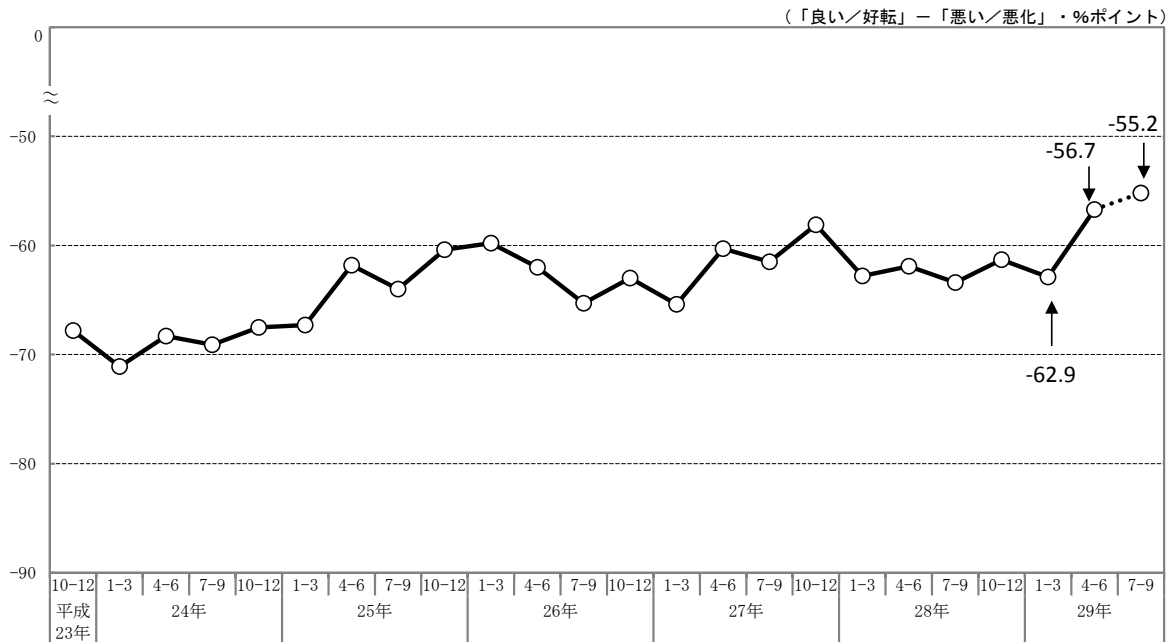


表1 業況判断の割合 -調査産業計-

	平成28年			29年		
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	3.4	3.1	3.4	3.4	3.1	3.3
普通/不変	31.3	30.4	31.9	30.4	37.1	38.2
悪い/悪化	65.3	66.5	64.7	66.3	59.8	58.5
DI	-61.9	-63.4	-61.3	-62.9	-56.7	-55.2

参考	業況判断DI						
	日銀短観(大企業全産業計)	12	12	14	16	20	16
中小企業景況調査(全産業計)	-27.0	-27.0	-26.9	-28.7	-21.5	-10.5	

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成29年7月上旬から中旬までである。

## 2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	247万8000円で、前年同期に比べ、14.5%の増加
□「卸売業、小売業」は	362万1000円で、前年同期に比べ、1.0%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	210万9000円で、前年同期に比べ、1.2%の増加
□「サービス業」は	124万2000円で、前年同期に比べ、7.4%の増加
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	64万1000円で、前年同期に比べ、4.6%の増加
□「卸売業、小売業」は	38万5000円で、前年同期に比べ、16.7%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	40万9000円で、前年同期に比べ、11.7%の増加
□「サービス業」は	49万6000円で、前年同期に比べ、17.8%の増加

※前年同期(平成28年4～6月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業			
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
実数 (千円)	平成27年	4～6月期	2,466	673	3,729	428	2,148	365	1,327	469	
		7～9月期	2,310	675	3,609	366	2,203	368	1,215	446	
		10～12月期	2,379	644	4,065	484	2,312	470	1,285	471	
	平成28年	1～3月期	2,293	685	3,566	353	2,253	418	1,134	379	
		4～6月期	2,165	613	3,659	330	2,084	366	1,156	421	
		7～9月期	2,092	580	3,638	388	2,107	418	1,139	427	
	平成29年	10～12月期	2,558	688	3,821	405	2,120	387	1,200	427	
		1～3月期	2,328	605	3,320	287	2,014	372	1,131	377	
		4～6月期	2,478	641	3,621	385	2,109	409	1,242	496	
	前年同期比 (%)	平成27年	4～6月期	15.7	9.8	-6.3	-0.7	-0.3	-9.2	9.7	2.9
			7～9月期	-0.2	7.8	-13.0	-1.1	1.6	-12.4	-1.2	3.0
			10～12月期	-2.7	-2.1	-7.3	-5.3	7.5	11.4	-1.2	-1.9
平成28年		1～3月期	5.1	15.1	-1.0	-10.4	10.3	12.1	-7.6	-4.1	
		4～6月期	-12.2	-8.9	-1.9	-22.9	-3.0	0.3	-12.9	-10.2	
		7～9月期	-9.4	-14.1	0.8	6.0	-4.4	13.6	-6.3	-4.3	
平成29年		10～12月期	7.5	6.8	-6.0	-16.3	-8.3	-17.7	-6.6	-9.3	
		1～3月期	1.5	-11.7	-6.9	-18.7	-10.6	-11.0	-0.3	-0.5	
		4～6月期	14.5	4.6	-1.0	16.7	1.2	11.7	7.4	17.8	

## 3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	7万9000円で、前年同期(5万3000円)に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	5万4000円で、前年同期(7万4000円)に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	6万4000円で、前年同期(6万6000円)に比べ、減少
□「サービス業」は	6万6000円で、前年同期(5万円)に比べ、増加
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	3.2%で、前年同期(2.4%)に比べ、0.8ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	1.5%で、前年同期(2.0%)に比べ、0.5ポイントの低下
□「宿泊業、飲食サービス業」は	3.0%で、前年同期(3.2%)に比べ、0.2ポイントの低下
□「サービス業」は	5.3%で、前年同期(4.3%)に比べ、1.0ポイントの上昇

※前年同期(平成28年4～6月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成27年	4～6月期	148	6.0	79	2.1	82	3.8	47	3.5
	7～9月期	135	5.8	86	2.4	159	7.2	57	4.7
	10～12月期	93	3.9	81	2.0	62	2.7	71	5.5
平成28年	1～3月期	70	3.1	53	1.5	55	2.4	72	6.3
	4～6月期	53	2.4	74	2.0	66	3.2	50	4.3
	7～9月期	169	8.1	56	1.5	177	8.4	36	3.2
平成29年	10～12月期	64	2.5	93	2.4	84	4.0	47	3.9
	1～3月期	121	5.2	46	1.4	46	2.3	43	3.8
	4～6月期	79	3.2	54	1.5	64	3.0	66	5.3

## Ⅱ 業況判断

### 1 調査産業計

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成29年4～6月期）の業況判断DIは（-）56.7で、前期（平成29年1～3月期）（-62.9）に比べ、6.2ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断DIは（-）40.0で、前期（-53.3）に比べ、13.3ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成28年4～6月期）と比較した業況判断DIは（-）49.3で、前期（-53.5）に比べ、4.2ポイント改善した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成29年7～9月期）の業況見通しDIは（-）55.2で、今期の業況判断（-56.7）に比べ、1.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断DIの推移 - 調査産業計 -

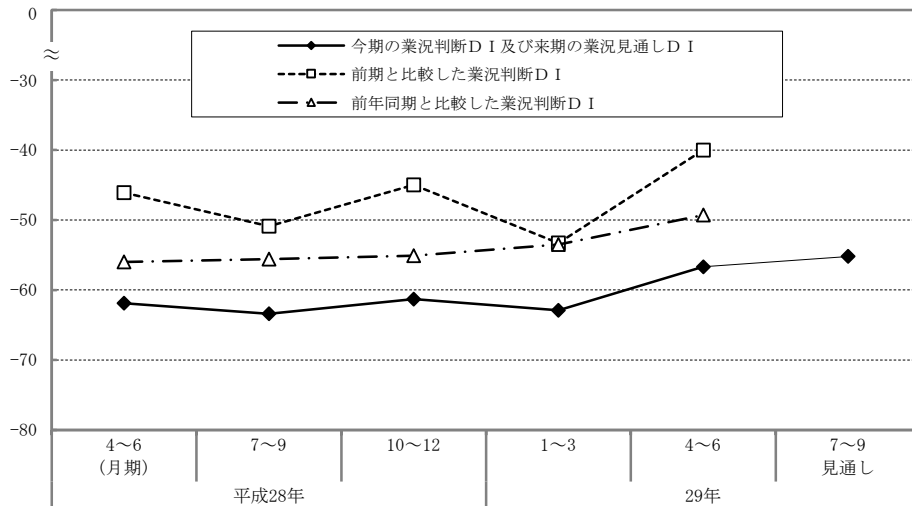
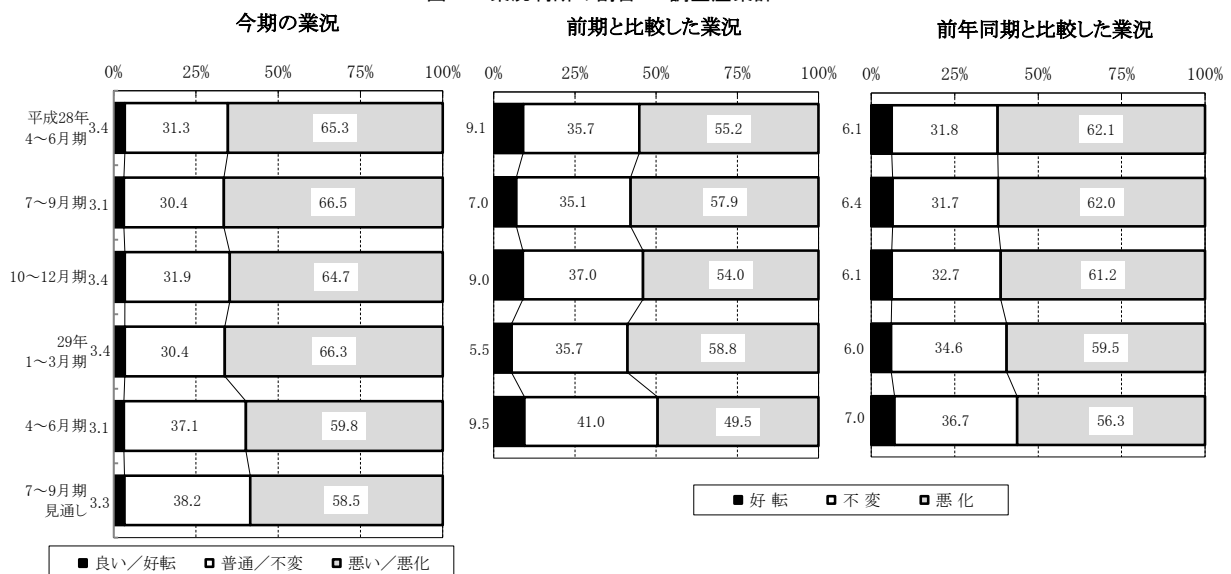


図3 業況判断の割合 - 調査産業計 -



## (2) 売上の状況

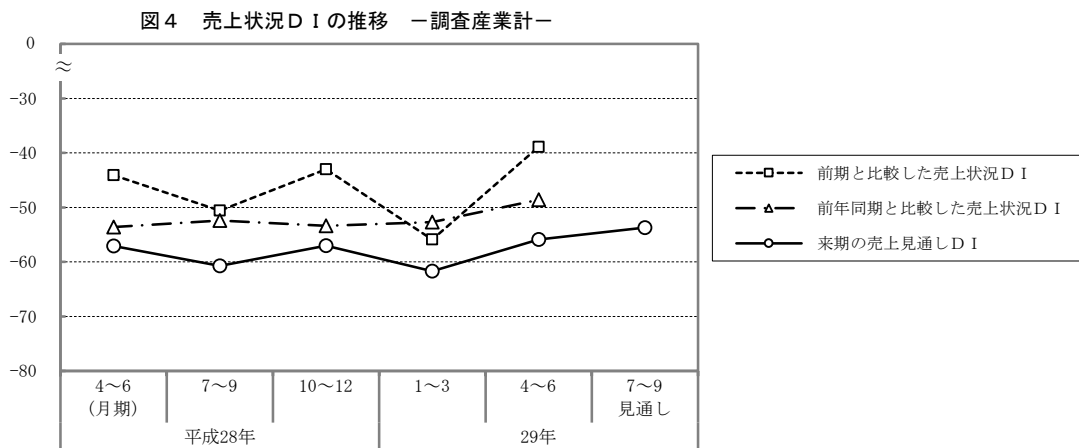
### ① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは(-)38.9で、前期(-55.9)に比べ、17.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)48.6で、前期(-52.7)に比べ、4.1ポイント改善した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)53.7で、前期における今期の売上見通し(-55.9)に比べ、2.2ポイントの改善の見通しとなっている。



## (3) 営業利益の状況

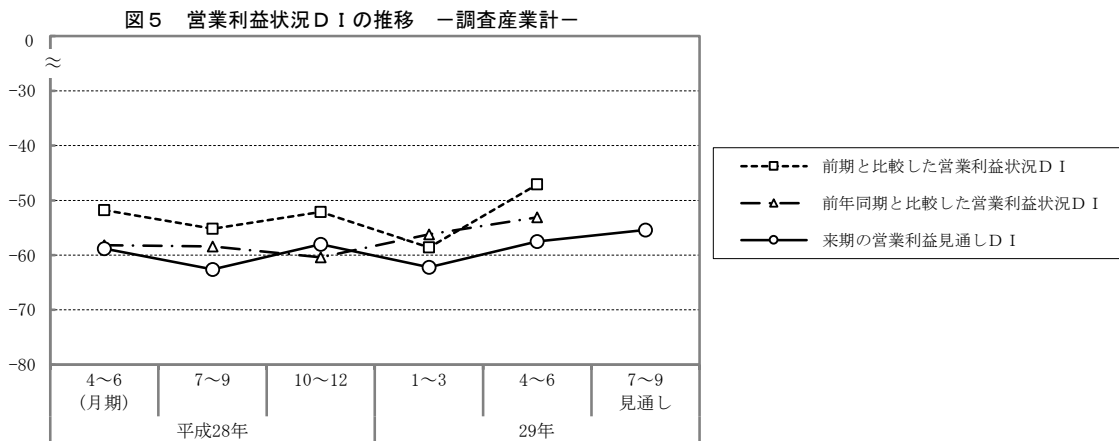
### ① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)47.1で、前期(-58.6)に比べ、11.5ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)53.1で、前期(-56.2)に比べ、3.1ポイント改善した。

### ② 来期の営業利益見通し

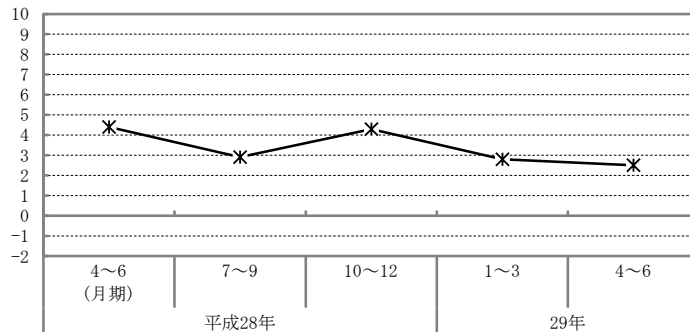
来期の営業利益見通しDIは(-)55.4で、前期における今期の営業利益見通し(-57.5)に比べ、2.1ポイントの改善の見通しとなっている。



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.5 で、前期 (+2.8) に比べ、0.3 ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

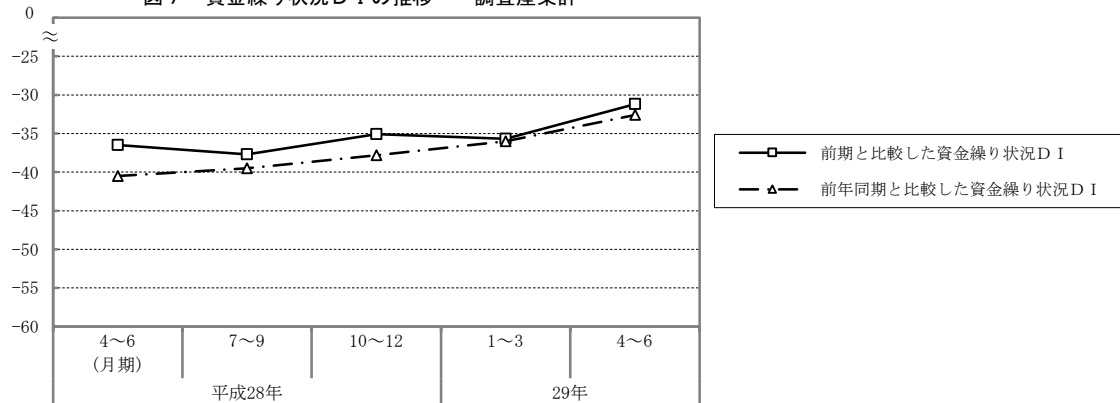


#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.2 で、前期 (-35.7) に比べ、4.5 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)32.6 で、前期 (-36.0) に比べ、3.4 ポイント改善した。

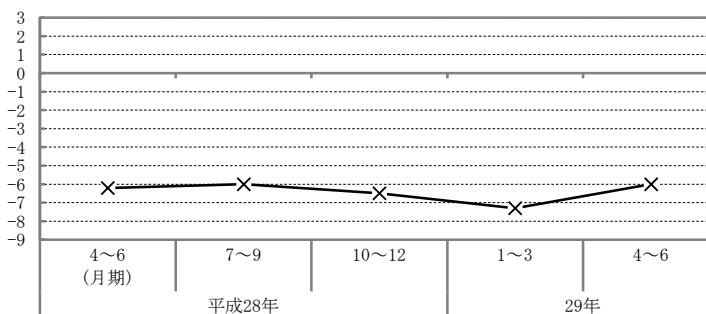
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.0 で、前期 (-7.3) に比べ、1.3 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



## 2 製造業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成29年4～6月期）の業況判断DIは(-)52.9で、前期（平成29年1～3月期）(-61.1)に比べ、8.2ポイント改善した。

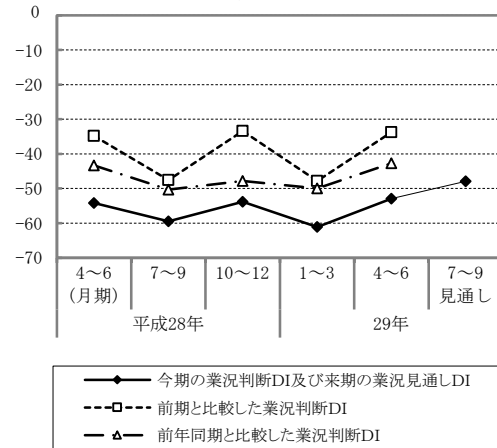
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)33.7で、前期(-47.8)に比べ、14.1ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成28年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)42.7で、前期(-50.0)に比べ、7.3ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成29年7～9月期）の業況見通しDIは(-)47.9で、今期の業況判断(-52.9)から、5.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移  
—製造業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

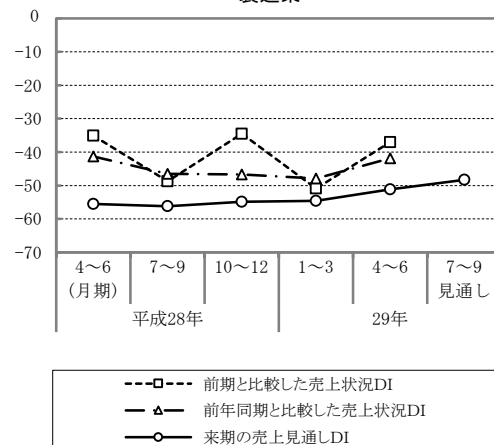
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)37.0で、前期(-50.9)に比べ、13.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)41.9で、前期(-47.9)に比べ、6.0ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)48.3で、前期における今期の売上見通し(-51.1)から、2.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移  
—製造業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

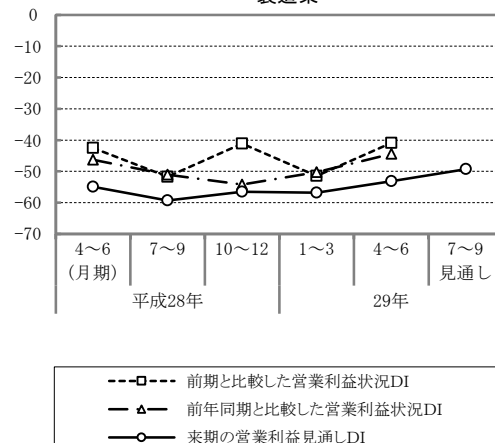
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)40.9で、前期(-51.5)に比べ、10.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)44.4で、前期(-50.3)に比べ、5.9ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)49.3で、前期における今期の営業利益見通し(-53.1)に比べ、3.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移  
—製造業—



#### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.3 で、前期 (+1.0) に比べ、1.3 ポイント「過剰」が拡大した。

#### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.7 で、前期 (-33.8) に比べ、4.1 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)30.2 で、前期 (-35.6) に比べ、5.4 ポイント改善した。

#### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)4.8 で、前期 (-4.6) に比べ、0.2 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

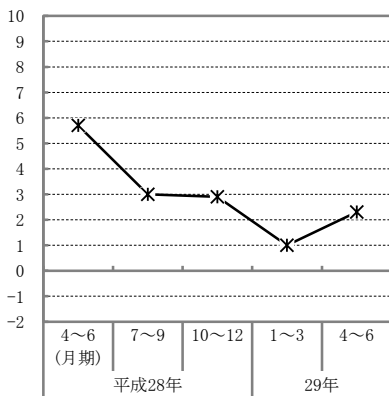


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

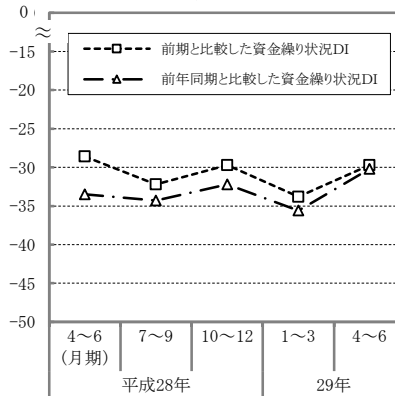
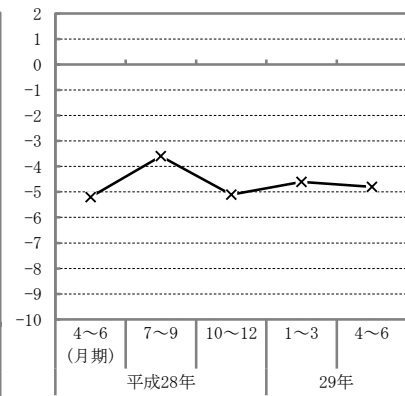


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



### 3 卸売業, 小売業

#### (1) 業況

##### ① 今期の業況

ア 今期（平成29年4～6月期）の業況判断DIは (-)60.6 で、前期（平成29年1～3月期）(-63.3) に比べ、2.7 ポイント改善した。

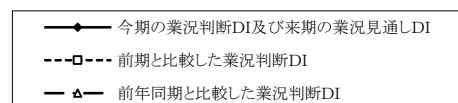
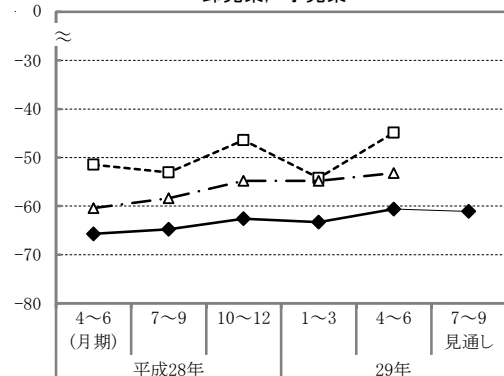
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)44.9 で、前期 (-54.2) に比べ、9.3 ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成28年4～6月期）と比較した業況判断DIは (-)53.2 で、前期 (-54.8) に比べ、1.6 ポイント改善した。

##### ② 来期の業況見通し

来期（平成29年7～9月期）の業況見通しDIは (-)61.1 で、今期の業況判断(-60.6) に比べ、0.5 ポイントの悪化の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



## (2) 売上の状況

### ① 今期の売上の状況

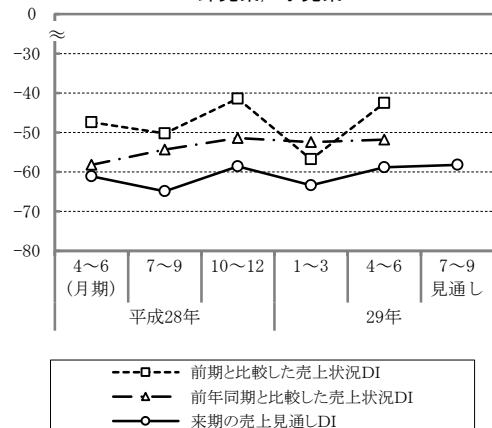
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)42.5で、前期(-56.8)に比べ、14.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)51.8で、前期(-52.4)に比べ、0.6ポイント改善した。

### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)58.2で、前期における今期の売上見通し(-58.8)に比べ、0.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (3) 営業利益の状況

### ① 今期の営業利益の状況

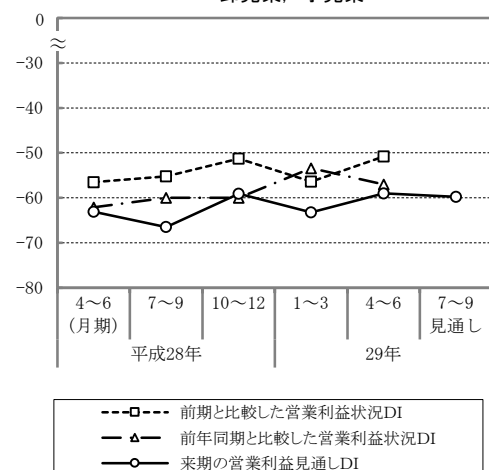
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)50.8で、前期(-56.4)に比べ、5.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)57.0で、前期(-53.4)に比べ、3.6ポイント悪化した。

### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)59.8で、前期における今期の営業利益見通し(-59.0)に比べ、0.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移  
—卸売業、小売業—



## (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+ )4.5で、前期(+4.7)に比べ、0.2ポイント「過剰」が縮小した。

## (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)32.9で、前期(-33.9)に比べ、1.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)33.5で、前期(-34.8)に比べ、1.3ポイント改善した。

## (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.1で、前期(-6.4)に比べ、1.3ポイント「不足」が縮小した。



図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

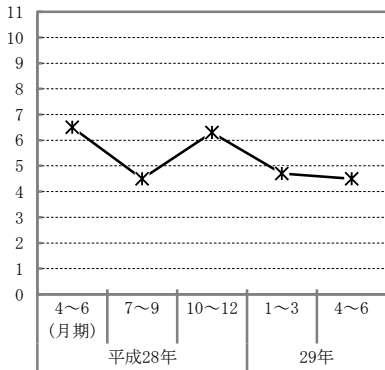


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

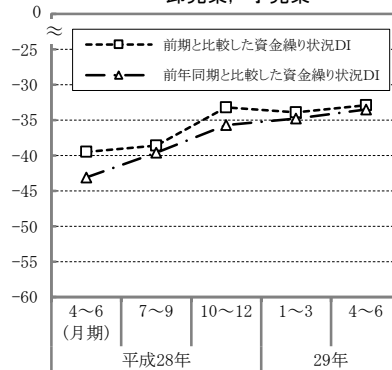
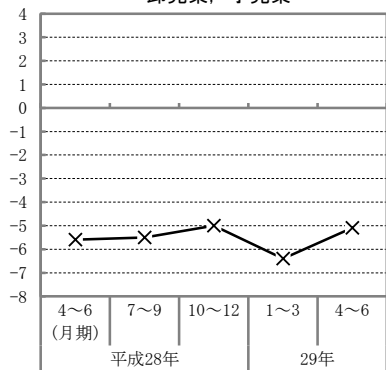


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



## 4 宿泊業, 飲食サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成29年4～6月期）の業況判断DIは(-)52.4で、前期（平成29年1～3月期）(-59.5)に比べ、7.1ポイント改善した。

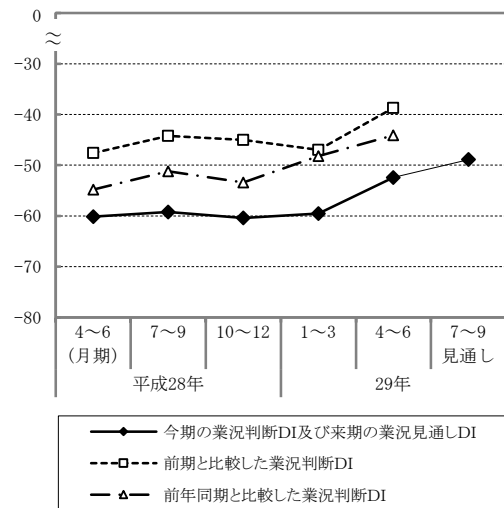
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)38.7で、前期(-47.0)に比べ、8.3ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成28年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)44.1で、前期(-48.2)に比べ、4.1ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成29年7～9月期）の業況見通しDIは(-)48.9で、今期の業況判断(-52.4)に比べ、3.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

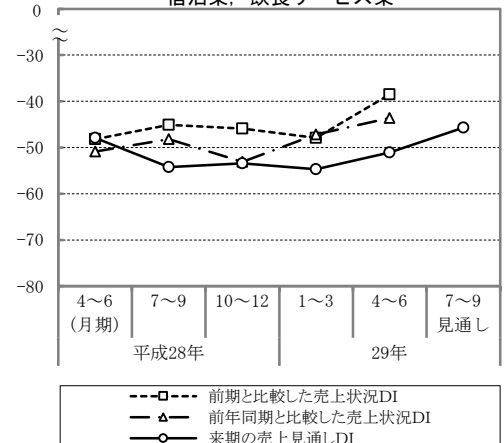
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)38.5で、前期(-47.9)に比べ、9.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)43.6で、前期(-47.2)に比べ、3.6ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)45.7で、前期における今期の売上見通し(-51.1)に比べ、5.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

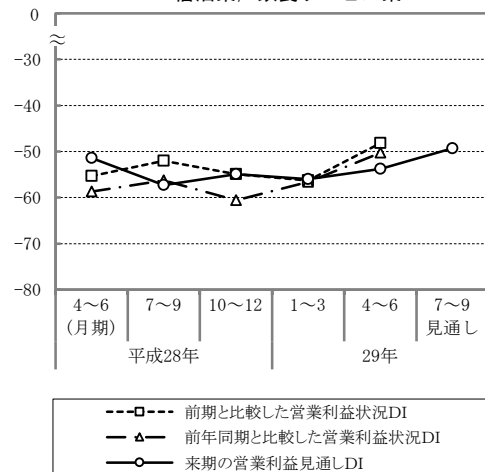
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)48.2 で、前期 (-56.3) に比べ、8.1 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)50.3 で、前期 (-56.6) に比べ、6.3 ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)49.3 で、前期における今期の営業利益見通し (-53.8) に比べ、4.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



### (4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)0.8 で、前期 (+1.4) に比べ、0.6 ポイント「過剰」が縮小した。

### (5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.4 で、前期 (-38.9) に比べ、4.5 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)36.6 で、前期 (-38.6) に比べ、2.0 ポイント改善した。

### (6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)9.8 で、前期 (-12.5) に比べ、2.7ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

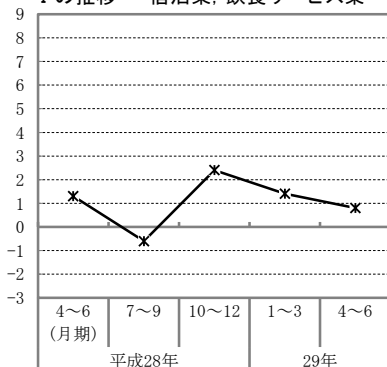


図25 資金繰り状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—

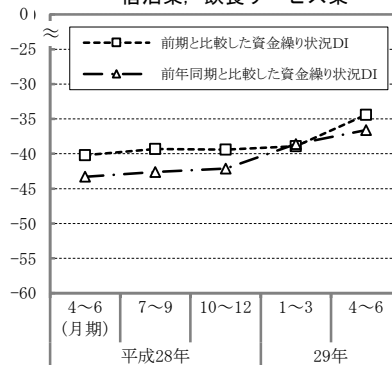
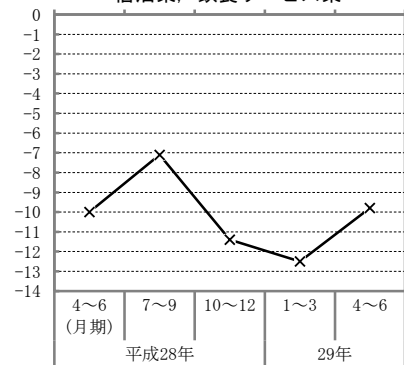


図26 雇用状況DIの推移  
—宿泊業、飲食サービス業—



## 5 サービス業

### (1) 業況

#### ① 今期の業況

ア 今期（平成29年4～6月期）の業況判断DIは(-)55.7で、前期（平成29年1～3月期）(-65.8)に比べ、10.1ポイント改善した。

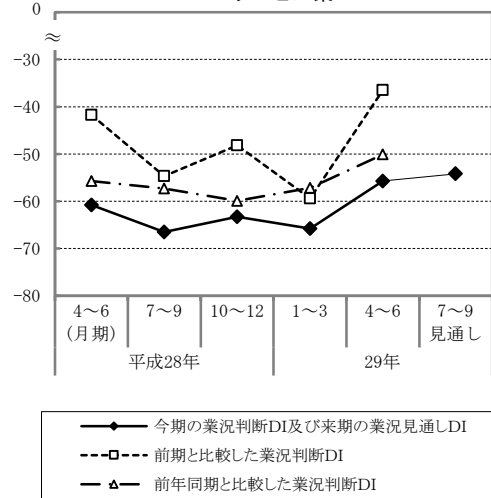
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)36.5で、前期(-59.4)に比べ、22.9ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成28年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)50.1で、前期(-57.2)に比べ、7.1ポイント改善した。

#### ② 来期の業況見通し

来期（平成29年7～9月期）の業況見通しDIは(-)54.2で、今期の業況判断(-55.7)に比べ、1.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移  
—サービス業—



### (2) 売上の状況

#### ① 今期の売上の状況

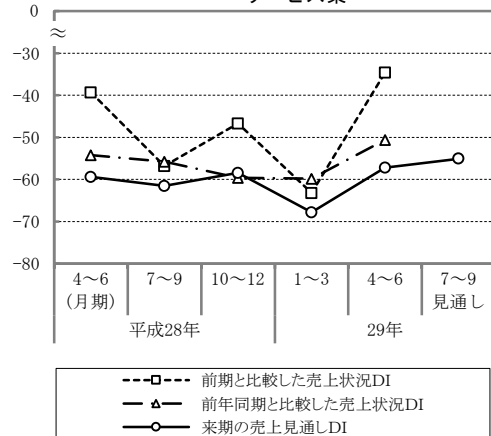
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)34.6で、前期(-63.2)に比べ、28.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)50.6で、前期(-59.8)に比べ、9.2ポイント改善した。

#### ② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)55.1で、前期における今期の売上見通し(-57.2)に比べ、2.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移  
—サービス業—



### (3) 営業利益の状況

#### ① 今期の営業利益の状況

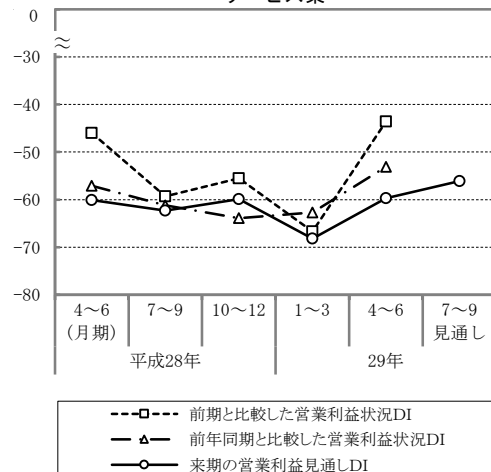
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)43.6で、前期(-66.7)に比べ、23.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)53.1で、前期(-62.7)に比べ、9.6ポイント改善した。

#### ② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)56.1で、前期における今期の営業利益見通し(-59.7)に比べ、3.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移  
—サービス業—



**(4) 製品・商品・原材料の在庫状況**

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)0.7 で、前期 (+1.6) に比べ、0.9ポイント「過剰」が縮小した。

**(5) 資金繰りの状況**

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)26.9 で、前期 (-36.7) に比べ、9.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)29.3 で、前期 (-35.9) に比べ、6.6ポイント改善した。

**(6) 雇用状況**

今期の雇用状況DIは (-)5.2 で、前期 (-5.7) に比べ、0.5ポイント「不足」が縮小した。

図30 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -サービス業-

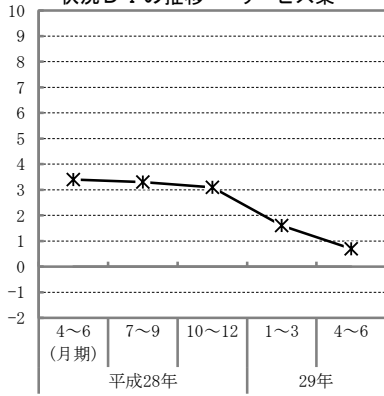


図31 資金繰り状況DIの推移 -サービス業-

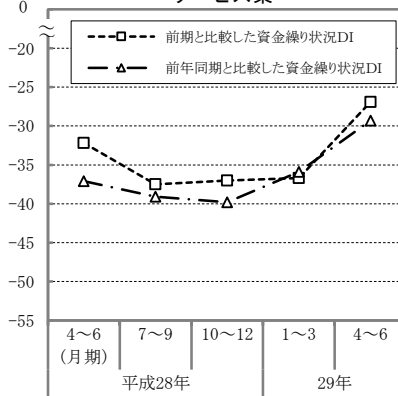
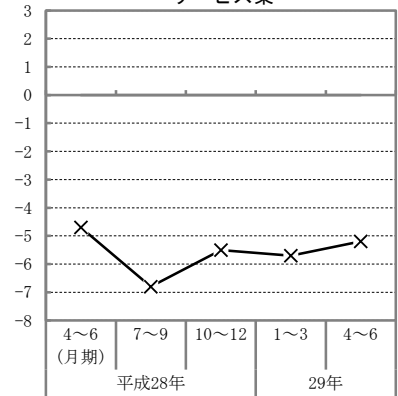


図32 雇用状況DIの推移 -サービス業-



### Ⅲ 営業収支

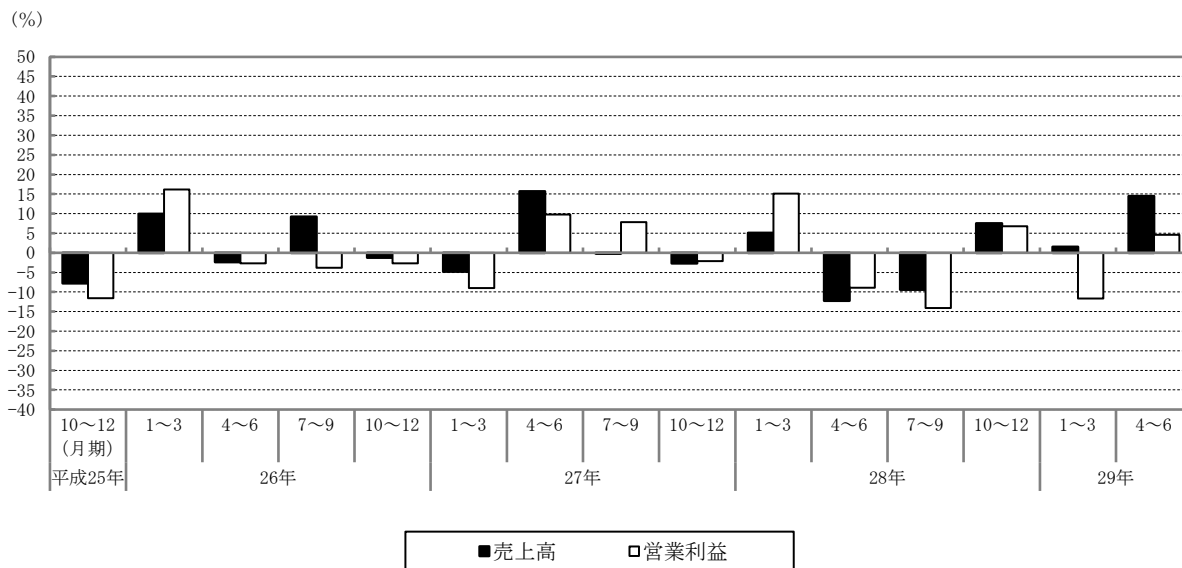
#### 1 製造業

##### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は247万8000円で、これに対する費用は売上原価が90万6000円、営業費が93万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は64万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) $14.5\%$ で、3期連続で増加した。また、営業利益は(+) $4.6\%$ で、2期ぶりに増加した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —製造業—

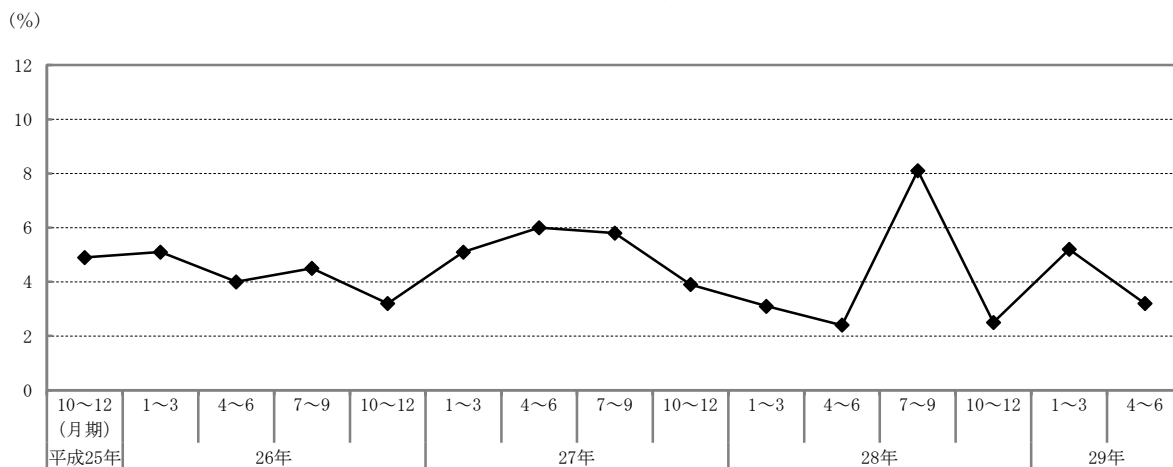


##### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は7万9000円で、前年同期(5万3000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は $3.2\%$ で、前年同期( $2.4\%$ )を $0.8$ ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 —製造業—

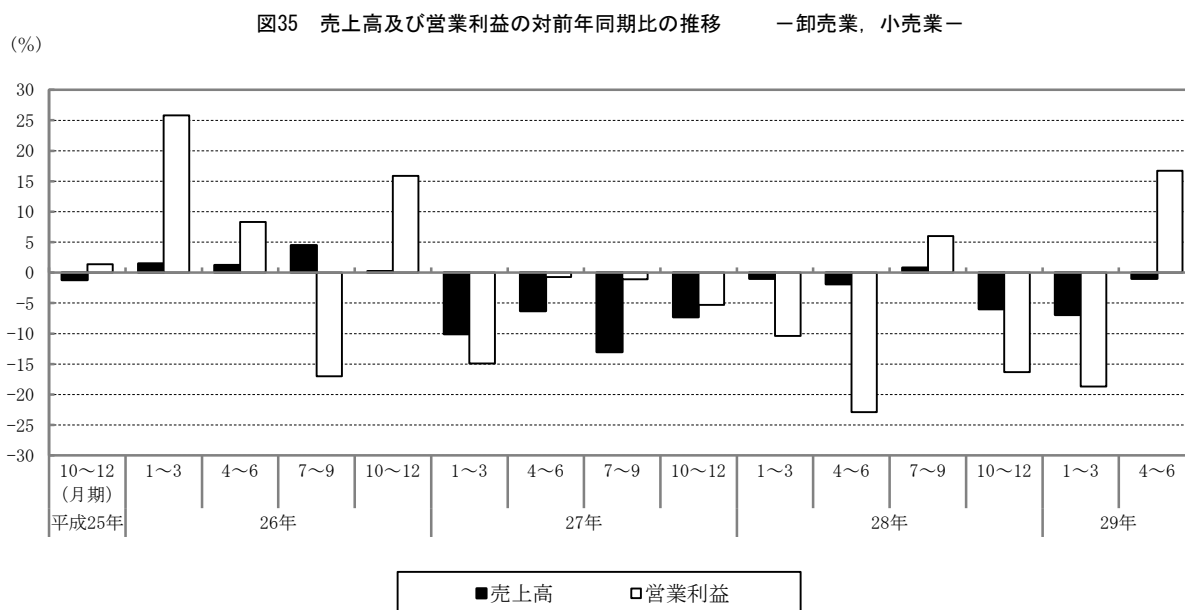


## 2 卸売業、小売業

### (1) 売上高及び営業利益

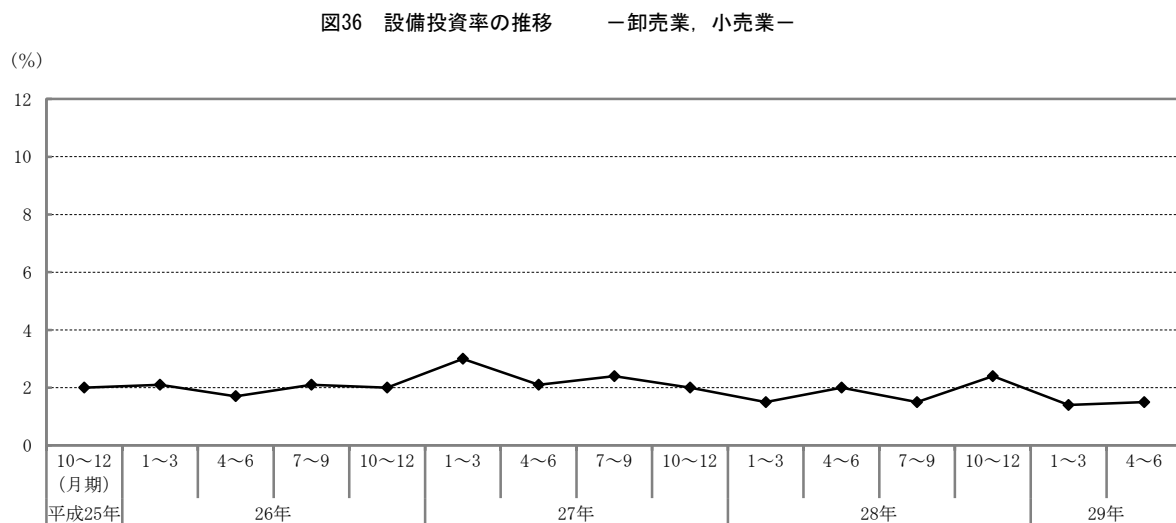
今期の1事業所当たりの売上高は362万1000円で、これに対する費用は売上原価が245万円、営業費が78万6000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は38万5000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.0%で、3期連続で減少した。また、営業利益は(+ )16.7%で、3期ぶりに増加した。



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万4000円で、前年同期(7万4000円)を下回った。また、設備投資率は1.5%で、前年同期(2.0%)を0.5ポイント下回った。

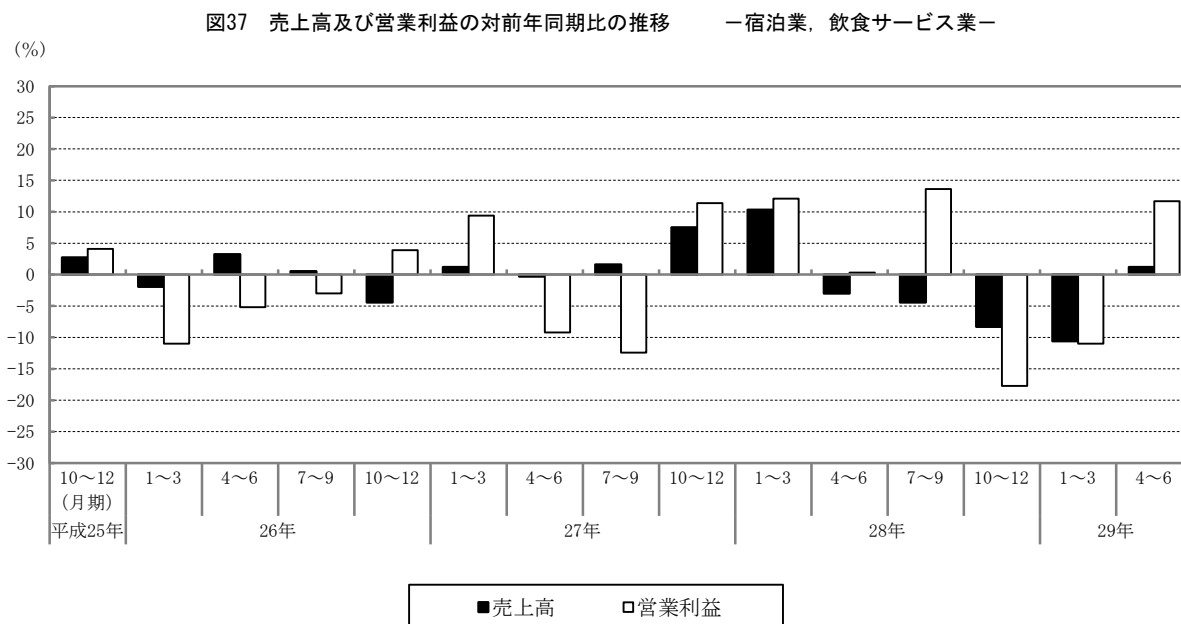


### 3 宿泊業，飲食サービス業

#### (1) 売上高及び営業利益

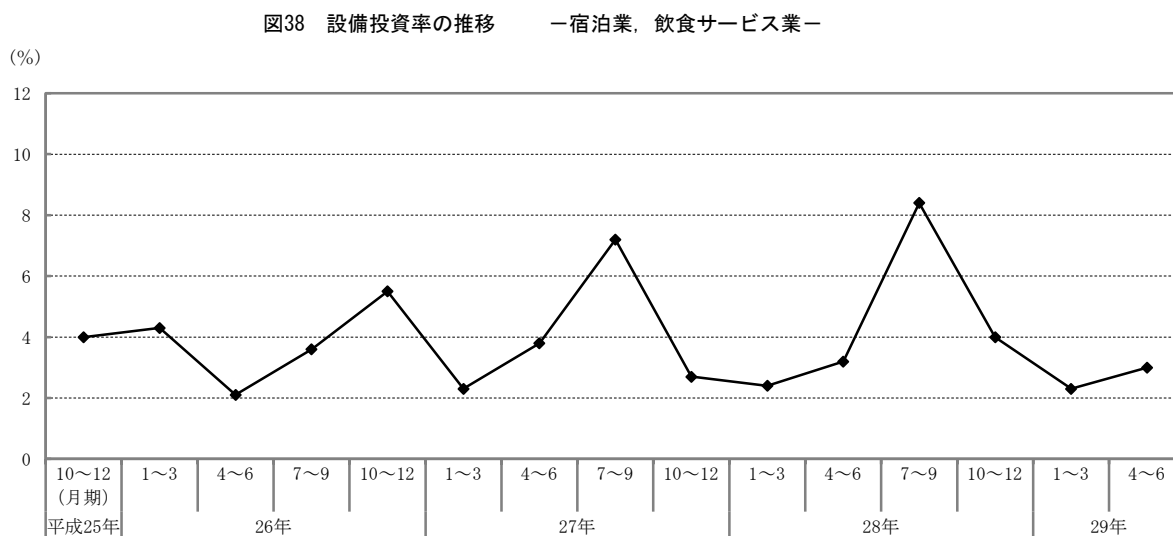
今期の1事業所当たりの売上高は210万9000円で、これに対する費用は売上原価が87万5000円、営業費が82万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は40万9000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+1.2%)で、5期ぶりに増加した。また、営業利益は(+11.7%)で、3期ぶりに増加した。



#### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万4000円で、前年同期(6万6000円)を下回った。また、設備投資率は3.0%で、前年同期(3.2%)を0.2ポイント下回った。



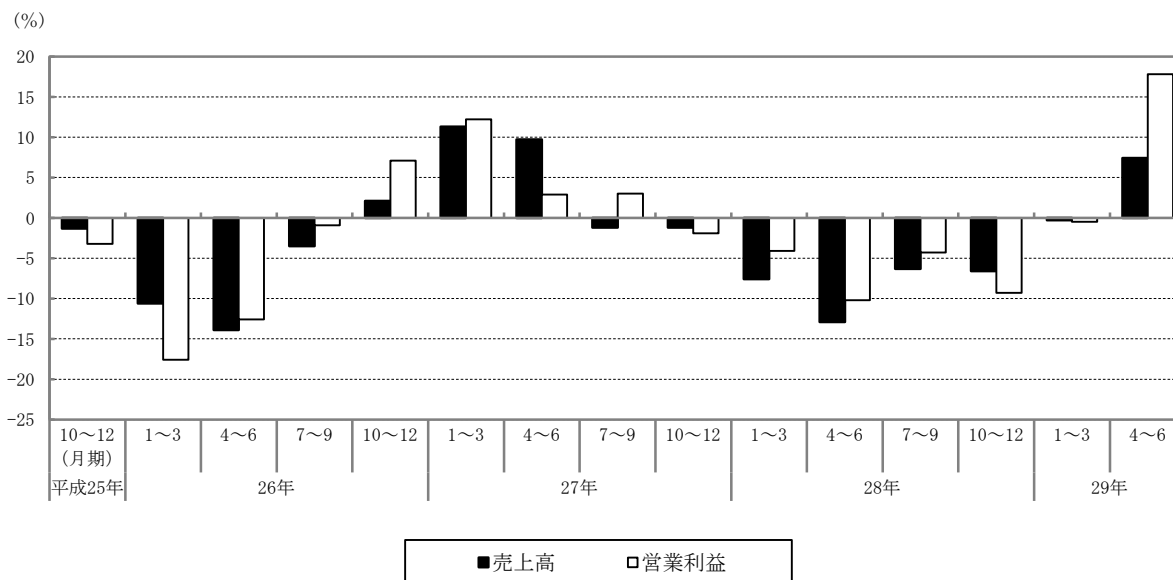
## 4 サービス業

### (1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は124万2000円で、これに対する費用は売上原価が19万7000円、営業費が54万9000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は49万6000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) $7.4\%$ で、8期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) $17.8\%$ で、7期ぶりに増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



### (2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万6000円で、前年同期(5万円)を上回った。また、設備投資率は $5.3\%$ で、前年同期( $4.3\%$ )を1.0ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

